

## “3.11原発事故から8年 福島と取手の今”

市民団体主催 タウンミーティング



戦争させない・9条壊すな！総がかり取手行動実行委員会・反原発取手駅前金曜行動委員会主催のタウンミーティングで講演する西村一郎氏  
＝8月25日、取手福祉会館

8月25日に開かれたタウンミーティングで、原発事故後の福島現地の取材を続けるジャーナリスト西村一郎さんが講演。人命とふるさと国土を犠牲に、今なお5万人を超える避難者、処理不能の除染ごみや増え続ける汚染水、今も続く関連自殺。手段を選ばず利益追求する原発利益共同体の本質を知らされ、参加者は改めて原発推進勢力への怒りを強くした講演でした。

とりで生活者ネットワークの竹添みち子さんが、放射線量の調査活動と行政への除染を求める活動について、日本共産党加増みつ子市議が、学校など公共施設

の除染や食品検査など、市が8年間で26億円を使った放射能対策の現状を報告。

### 知事は再稼働に同意する なの声あげよう

事務局から「県知事に対し、東海第二原発の再稼働に同意しないことを求める意見書提出に関する請願」署名の取り組みについて、各地の反原発運動、県民投票を求める運動等と連帯し、県内各市町村に呼びかけることを提案。参加者70名は東海第二原発再稼働中止への取り組みを広げることを確認しました。

## 取手駅東口 バリアフリー化 全ホームへのエレベーター設置を

8月21日、バリアフリー化早期整備へ、小池えつ子・加増みつ子市議は、市民のみなさんと国交省とのヒヤリングを行いました。

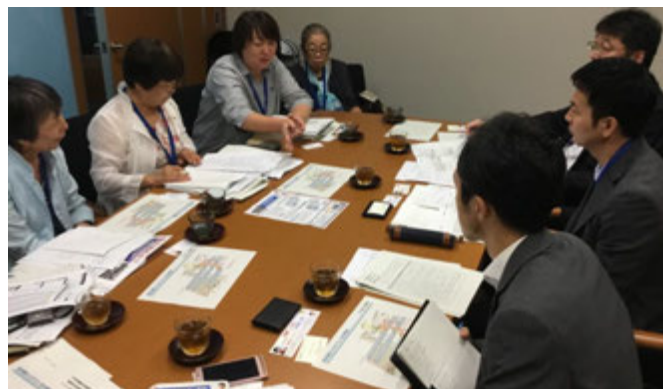
県内2番目にJRの乗降客が多い取手駅（1日55,000人）が、いまだバリアフリー未完成駅、バリアフリー法・ガイドライン基準による速やかな整備が不可欠です。市民世論と運動で東口構内バリアフリー化へやっと動き出しました。

### 千代田線にエレベーター で東口バリアフリー化？

市とJRの合意案は、東口改札から千代田線ホームへと、ホーム北側にエレベーターを新設するものです。高低差とともに移動距

離は長く、日中千代田線は運行していないなど、東口構内のバリアフリーに値するものではありません。「可能な限り近く平に移動」とする、「ガイドライン基準に基づく整備をJRに指導を」との私たちの要望に、国交省職員は「一番安いのにしたんですね」と反応、その一方で、「報告は届いていない、聞いていない」と繰り返すばかり。「地元の議会と行政で協議を」と、所管行政庁の役割への自覚は感じられませんでした。

日本共産党は、法に基づき、東口構内全ホームへの速やかなエレベーター設置へ引き続きみなさんと力を合わせます。



国交省とヒヤリング  
日、参院議員会館  
8月21

**JCPとりでふれあいフェスタ**

**模擬店**

果物・野菜、  
フリーマーケットなどお買い物  
子ども達にはザリガニ釣りや  
輪投げのお楽しみ  
焼き鳥にビールも飲んで  
お休み処で談笑

**9月7日土**  
AM10:00～PM2:00

【取手駅西口前】  
**場所 ウェルネスパーク**  
(プラザ広場)

入場無料！  
どなたも歓迎

## 野党連合政権に向けた話し合いの開始を 志位委員長が各野党に申し入れ



野党連合政権に向けて党  
首会談呼びかけについて  
記者会見する志位委員長  
(左)と小池書記局長

＝8月26日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長は8月26日、野党各党・会派に対し、野党連合政権に向けた話し合いの開始とそのため党首会談を申し入れました。それは、党創立記念講演会(8月8日)で、志位氏が来る総選挙に向けて「野党連合政権を正面の主題に話し合いの開始を」の呼び掛けを踏まえたものです。

講演で志位委員長は、「参院選で改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2の議席を割り込んだ結果をつくるうえで決定的役割を果たした」「市民と野党の共闘が政治を変える新しい力」だと強調しました。

暴走を続ける安倍政権に代わる野党の連合政権構想についての野党協議に期待が寄せられています。

**ステージ**

太鼓にギターとトランペット、みんなで歌うコーナー  
梅村さえこ前衆院議員と4人の共産党市議がご挨拶

どなたもお気軽にお出かけください。



# 9 月市議会 9月2～20日 安心の子育て・教育、暮らし、防災・まちづくりと産業で市政を質します。

日本共産党

本議会では、2018年度一般会計・国保会計など特別会計決算や、10月からの消費税10%に伴う保育料無償化にかかわる条例と一般会計補正予算。請願や意見書などの審議が行われます。

共産党市議団の一般質問は下記の内容で行います。  
是非議会傍聴にお出かけください。



加増みつ子 9月3日・火・午後

保育料無償化に伴う給食費徴収やめよ  
保育士処遇改善・増員で待機児ゼロ

取手駅東口構内の全ホームへのエレベーター設置を求める

取手駅西口開発は駅前交通広場の整備を優先、超高層ビル建設の見直し縮小を



関戸 勇 9月4日・水・午後

大規模盛り土造成地調査に伴う安全対策を

都市計画・総合的まちづくりに係る立地適正化計画トップダウンの策定改めよ

民主主義の根幹にかかわる低投票率、投票率向上へ行政の責任を



遠山ちえ子 9月3日・火・午後

災害時の避難対策・・・「避難計画」拡充とみなし仮設住宅の確保。小貝川旧6号国道文巻橋の老朽対策と紫水近隣に橋梁建設

農業公社有効活用、戸別所得補償復活、機械購入時の補助制度で地域農業を守る

子どもたちの生活と遊びの場としての放課後子どもクラブの改善・拡充を



小池えつ子 9月5日・木・午前

子どもたちが健やかに育つ教育環境充実のために教育行政の責任と役割を問う

いつでも誰もが安心して暮らせるまちづくりへ、地域の足「コミュニティバス」運行の大転換へ、住民参加型の計画・シャトルバス運行、民間バスとの共同を

市長は東海第二原発の再稼働反対を明言し、県知事に再稼働不同意を求めよ

「子どもたちに平和な未来をつなげよう」と訴える左から小池、関戸、遠山、加増の各市議 8月15日、戸頭マスタ前



## 74回目の終戦記念日、市内各地で平和の訴え

終戦から74年の8月15日、台風の影響で暑い中、日本共産党市議団4人そろって終戦記念日にあたり、「アジア諸国民2000万人、日本国民300万人の尊い命を奪った先の大戦から74年。二度と戦争をしない、武器を持たない、海外で武力行使をしない、と固く誓った憲法9条を守ろう」と市内各地で街頭宣伝を行いました。

7月の参院選で、市民と野党共闘の力が発揮され、自民、公明、維新など改憲勢力を3分の2割れに追い込んだこの力をさらに発展させ、安倍首相が目指す「戦争する国」への道を阻み、「子どもたちの未来に平和をつなげていきましょう」と訴えました。



### 茨城の水道行政

## 過大な水資源開発が水道会計圧迫

2018年12月、水道法が改正され水道事業の民営化、広域化などの動きが全国で出てきており茨城県でもすでに2017年度から広域連携検討会議が設置されています。8月10日、牛久市内で、県南水道企業団の構成自治体(取手・牛久・龍ケ崎・利根)中心の「水問題を考える会」主催の学習会が開かれ70人が参加しました。

共産党県南水道北島議員から今年3月に県南水道企業団が示した水道事業経営戦略プランの概略説明があり、その中で今後茨城県南広域水道と県西広域水道の統合による影響もあり、県南水道料金が今後2度にわたる値上げ計画が明らかになりました。

かになりました。

水道法改定の狙いは  
広域化促進=住民負担増

愛国学園大学准教授 梶原健嗣氏は、水道法改悪の中身は民営化と広域化がポイントで、トップダウンで進められていると説明。民営化では世界各地の破綻例(公営化に戻すなど)が示され、地域で自前の水源をもっているのに、国主導で広域化する問題が大きいと力説。

参加者は、無駄な水資源開発のつけを住民にもたらす水道料金値上げストップ、値下げせよの世論と運動を広げることを確認して散会しました。



水問題を考える学習会=8月10日、牛久市中央生涯学習センター